



人間総合科学研究科「医学セミナー」

レジデントレクチャー 1単位

日時 2015年 2月 6日(金) 18:00～

会場 筑波大学健康医科学イノベーション棟 1階 105室
茨城県つくば市天王台 1-1-1

主催 筑波大学附属病院小児総合医療センター

演題

くすりとしての遺伝子治療

講師

国立成育医療研究センター研究所
成育遺伝研究部 部長

小野寺 雅史 先生

世話人

筑波大学医学医療系小児科 教授
筑波大学附属病院 小児総合医療センター 部長

須磨崎 亮 先生

ここ十余年にわたる造血幹細胞遺伝子治療の臨床成績は、本治療が原発性免疫不全症など遺伝性疾患に対する有効な治療法であることを証明してきた。ただ、およそその治療概念が、使用する細胞種の違いはあれ、正常に機能する造血幹細胞の移植であることを考えると、次なる評価は造血幹細胞移植に対する優劣である。そこで、本セミナーではこれまでに行われてきた原発性免疫不全症に対する遺伝子治療の成績を造血幹細胞移植との成績と比較し、今後、造血幹細胞遺伝子治療がくすりとしてその地位を確立していけるかを考える。

小野寺雅史先生は、重症複合免疫不全症の患児を対象にして、日本で初めて遺伝子治療を実施されました。現在も我が国における遺伝子治療の第一人者として、原発性免疫不全症に対する治療を積極的に推進しておられます。



筑波大学附属病院
小児総合医療センター
University of Tsukuba Hospital
Children's Medical Center

【お問い合わせ】

筑波大学附属病院 小児総合医療センター 成育支援室
〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1
TEL 029(853)3785 FAX 029(853)8819
E-mail ppsupport@un.tsukuba.ac.jp